

2023年5月11日  
酪農学園大学 入試広報課

## エコフィードで肥育した肉牛を出荷

平素より本学の教育・研究活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さてこの度、本学のフィールド教育研究センター肉畜生産ステーション肉牛飼養施設において、肥育期間中エコフィードを100%給与し肥育した肉牛を出荷させていただくこととなりました。

※エコフィード：食品製造等の副産物を牛や豚が食べられるように調整した飼料

昨今、物価高の影響を受け、海外で生産された肥育飼料は高騰の一途をたどっており、海外輸入に依存していた日本の畜産農家は経営に多大なる打撃を受けております。また、SDGsに代表されるように持続可能性の向上は全世界の急務です。

これらの課題解決に向け、本学は各企業と連携しエコフィードを用いた肉牛の肥育および出荷を行うことといたしました。エコフィードの利用を推進することで廃棄物量の削減、輸入穀物飼料の利用割合を可能な限り減らし国内飼料自給率を向上、飼料価格の安定、畜産農家の経営安定に貢献することができます。

そのほか地域資源の活用や製造過程の公表、環境負荷の低減、安心安全で美味しい食肉生産という観点からも持続可能性な社会の構築に寄与いたします。

本件に関しましては以下のとおり記者発表を行いますので、ご報道にご協力くださいますようお願いいたします。

### 記

- 日時 2023年5月15日（月） 13時00分～14時00分
- 場所 酪農学園大学 研修館  
(住所：北海道江別市文京台緑町 582 番地)
- 出席者 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 代表取締役社長 佐々木 康行 様  
イオン北海道株式会社 代表取締役社長 青柳 英樹 様  
学校法人酪農学園 常務理事 西田 丈夫
- 内容  
(1) エコフィード肥育牛の出荷に関する説明・質疑応答  
(2) 写真撮影  
(3) 試食会
- その他 本取り組みはSDGs 12,17 の他、複数の達成目標を横断した取組となっております。

以上

### 【本件問合せ先】

〒069-8501 江別市文京台緑町 582 番地  
学校法人酪農学園社会連携センター 地域連携課 植松 正平  
電話：011-388-4131 FAX：011-387-2805  
E-mail: rg-ext@rakuno.ac.jp